

# 2年学年だよ

平成30年10月4日(木)  
島本町立第一中学校  
校長 松本 剛  
2年生 学年グループ

## ☆平和学習・学年一斉道徳☆

9月5日(水)の5・6時間目を使い、平和学習を行いました。

5時間目は「硫黄島からの手紙」、6時間目は

「沖縄 よみがえる戦場～読谷村民2500人が語る地上戦～」

を観て、戦争の残酷さ、当時の人々の思いに触れました。

また、学年一斉道徳では映画「コーチカーター」を観ました。

この映画で皆さんは何を感じましたか？社会に出たとき、世の中に流されないようにするために学校のルールを守ることができていますか？将来に向かって「今を大切に」学校生活を送ることができていますか？この機会に日々の過ごし方を見つめなおしてみましょう。

皆さんの感想を紹介します。



### < 平和学習 感想 >

・戦場や沖縄戦争のことを見て、仕事仲間が亡くなってしまったり、誰だって本当はやりたくないのに他国の人を殺さなければならなかったり、大切な家族がいるのに自分で死ななければならないシーンを見て胸が苦しくなりました。最近では戦争の怖さを伝える人が少なくなってきました。今後、戦争が二度と起こらないように戦争の時代にいた人たちに話を聞いた私たちが後の世代に伝えていかなければならないということがわかりました。

・敵に殺されるぐらいならば、自殺を選ぶという人がいたことや、自分の娘に殺してほしいと言われて殺した人がいるということを知り、戦争がもたらした被害は、目に見えるものだけではなかったと実感した。国どうしなどで少しかみ合わないことがあっても、じっくり国を挙げて考えて、その意見を相手国と話し合い、認め合っていかなければならないと思う。全てが思い通りにはならないからお互いが少しずつ譲り合えばいいと思う。

・小さな争いがやがて大きな戦争となってしまうなら、「大きな戦争をなくそう！」ではなく、「小さな争いごとをなくして、平和な世界につなげよう！」という方が的確な気がしました。

「戦争をするな！(No war)」という前に「戦争を知る(Know war)」ことが大事だと改めて感じました。そして、この平和な時代に生まれてきて良かったと思いました。だからこそ、この一つしかない命を大切に、一度きりの人生、今このときを大切に一生懸命生きたいと思いました。

### < 学年一斉道徳 感想 >

◎バスケットボールの意義は何ですか？

- ・社会で法律を犯さないための練習。ルールを守って社会で生きていけるように。
- ・選手である前に生徒であることを考える。人生の幅を広げるため。

◎「最大の恐怖」とはどんなことですか？

- ・自分の計り知れない力。
- ・闇ではなく光。自分が光を放てば、周りも輝く。
- ・何もやらなかったり、がんばらないこと。あきらめること。
- ・自分が知らない眠っている能力。自分の本気。

◎「内なる勝利」とはどんなことですか？

- ・色あせず、輝き続けるもの。試合で負けたから終わりじゃなく、心が強くなったこと。
- ・決められた道を自分で壊してよりよい人生を進めるように努力して勝ち取ること。
- ・自分を輝かせることができたこと。
- ・努力をすることで、たとえ結果が何であろうと新しい自分を知り、成長すること。
- ・自分の限界に挑戦した自分たちに誇りを持つこと。
- ・自分が胸を張ってよかったといえるもの。
- ・試合に負けても、日ごろからしっかり練習し、生活していたこと。

